

ヤマユリ通信 開花

麻生区協働推進事業 麻生ヤマユリ植栽普及会

H22. 9. 28 発行

vol. 2-2

◆もくじ◆

- ▶区内初めての「ヤマユリ写真展」開催 1
- ▶2010年度 全国ヤマユリサミットで他地域と交流 2
- ▶人物探訪 鎌谷 衛さん「荒れた緑地が見事に蘇った」 3
- ▶植栽地便り！かつての群落をかいま見る“ふるさと自慢”！ 4



区内初めての「麻生ヤマユリ写真展」開催 区役所のロビーが明るく・ 華やかな1週間でした

去る9月9日～17日の1週間、麻生区役所のロビーにて、麻生区内に咲いたヤマユリの写真展を開催しました。絶滅しつつあるヤマユリの現況の中で写真が集まるか懸念する声もありましたが、お陰様で、区内全域から80数点もの応募があり、活況の内に終了することができました。

B4～2Lサイズの開花ヤマユリの写真80数点を選定委員会にはかり、可能な限り全点展示の方向で準備いたしました。

開花地域をイメージしながら観賞していただけるように、岡上地区〇〇緑地、王禅寺地区〇〇緑地などと撮影場所別に分類して10枚のパネルに展示。花のアップ、開花ヤマユリの立ち姿、そして緑地に咲き誇るヤマユリなど、その美しさが見事に結集され、区役所を訪れた皆さんに、ふるさと自慢“ヤマユリ”への愛着を深めていただけたことでしょう。ご支援ご協力いただいた皆さんに感謝いたします。



▲作品を観賞する区民



▲準備作業も終盤



▲地域別選定作業

募集！第7回ヤマユリ鉢植え講習会 球根編



▲各用土の量と使う順番を間違えないように

ヤマユリの球根鉢植えの時節が参りました。講習会を下記の要領で開催の予定です。難しい用土の配合の仕方から育成管理の仕方までを講義と実習で手ほどきいたします。

- 主 催：麻生ヤマユリ植栽普及会
- 開催日時：11月22日(月) 14時～16時30分
- 会 場：麻生区役所 会議室・広場
- 定 員：40名 (区内在住)：定員オーバーは抽選
- 参加費：1,300円(材料費：球根1球、鉢(8号)、用土(4種))
- 参加希望者：往復はがきに氏名(ふりがな)、〒住所、電話番号
- 締め切り：11月5日(消印有効)
- 応募先：〒215-8570 (麻生区万福寺1-5-1)
麻生区役所地域振興課 ヤマユリ鉢植え講習会担当行き(明記のこと)
TEL:044-965-5116 FAX:965-5201

◆留意点：当日欠席でも、仕立て鉢引き替えで参加費をいただきます。

2010年度 全国ヤマユリサミットで他地域と交流

「なぜヤマユリが今売りか」

ヤマユリの保護・増殖・栽培技術を確立し、自然環境の保護・保全、地域振興、会員間の交流等を目的に、去る7月27日・28日武蔵丘陵森林公園で開催された「全国ヤマユリサミット」に当会から2名が参加しました。今年は、北は秋田から、西は三重、滋賀から全22団体40数名が参加交流しました。

参加団体は、それぞれいろいろな課題を抱えていましたが、ヤマユリを自然環境の保護・保全の観点から観光資源として、行政が積極的にかかわり支援している埼玉、茨城、千葉、山梨からの参加団体からの発言が目立った。

サミットの記念講演で武蔵丘陵森林公園・植物園の飯塚克身園長が「ヤマユリによる誘客戦略」と題して観光資源としての生かし方を提唱。



- ①咲かす（大量に開花）
- ②売る（広報の徹底）
- ③もてなす（訪問者へのサービスの徹底）

の3点セットが基本であることを武蔵丘陵森林公園での取り組みを例に紹介。

そして「なぜヤマユリが今売りか」について、次の5点を上げる。

- ①日本の固有種：この地域しか見られない。
- ②かつては、どこでも見られたのに
- ③好きでも入手困難・栽培困難
- ④管理コストがかからない

- ⑤鑑賞価値の高さ（花姿、香り、開花時期）

ヤマユリにもっと注目し「ふるさと自慢」にすべきで・なり得る花だと、次々に提案するアイデア溢れる飯塚園長の熱弁に、参加者一同、最後まで圧倒され続け、その情熱に感嘆させられました。



▲来園者から歓声があがる大株のヤマユリ

9月の活動 袋かけとツル草取り作業

ヤマユリの増殖の仕方の一つに種による方法が最適といわれています。

しかし、育て方は簡単ではありません。人手による方法は、健康な種を採取することもあることながら、種まきしてから開花までの5年間、継続的な育成管理が必要だからです。

花が散ると種が実り始めます。ヤマユリの種は、朔の中で育ちます。その朔は、花の数だけできる訳でなく、交配がうまくいくことが前提です。一般に、元気な朔は、開花数の2、3割。朔の生長不全が2、3割。朔を付けない花が3、4割といったところでしょう。

緑地では、元気な朔も虫に食べられますので、

種が完熟するまで残るのは1割程度。

そこで、ヤマユリ植栽地では、袋かけ作業を行い、この貴重な朔の実りを保護します。

この朔を採取し、種を乾燥、選別、殺菌してから植栽地に種まきします。その後、開花するまで、5年もの歳月、草刈り、ツル草の除去、薬剤散布を繰り返す訳ですから根気のいる増殖作業と言えます。

植栽地の管理で、春先から秋口まで悩まされるものの一つがツル草です。クズ、カナムグラ、ヤブガラシは、緑地を荒廃させてしまいます。

この時節、1、2ヶ月も放置すると下の写真のように地表を覆いつくし下の草木を枯らしてしまいます。



▲岡上梨子ノ木緑地での袋かけ作業



▲袋の花が咲いた



▲クズ



▲カナムグラ

「荒れた緑地が見事に蘇った」

ゴミの不法投棄場と昼なお暗い藪と戦って6年、市民癒しの緑地に蘇った「岡上梨子ノ木緑地」がある。この荒廃地を再生させた緑地ボランティアのリーダー「NPO法人 かわさき自然と共生(ともゆき)の会」代表理事 鎌谷衛さんに、その活動に寄せる想いについてご寄稿いただきました。



岡上在住

■緑地保全の始まり

平成12年に、岡上の緑を残したいとの思いで、「川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」にもとづき、市長に保全を申し出ましたところ、市当局のご努力と地権者のご理解を得て16年に特別緑地保全地区として都市決定されたもので、この岡上梨子ノ木(なしのき)緑地は、1.6haあります。

その年から活動に着手しました。地区のちょうど半分は久しく人手の入っていない、アズマネザサが徒長した暗い雑木林で、あと半分は、樹木はほとんどなく、雑草に覆われて恰好の廃棄物不法投棄場となっている荒廃地でした。



▲岡上梨子ノ木緑地表門



▲冬、ネット状に張り巡ったクズ根の除去作業



▲たまにはねぎらいの懇親会

■地域の支援で今日が

わがNPO法人「かわさき自然と共生の会」の活動は、この緑地を拠点にして、毎月第二日曜日午前10時から12時までの2時間ですが、会の発足平成17年3月から今年の9月まで、一度も休むことなく行ってきました。

現在、会員は105名。これまで定例活動は61回、機関誌ニュース『ともいき』の発行は55号を数えています。今年6月には、川崎市環境功労者として表彰されました。

■飛躍の年は平成19年

平成19年に「三世代で憩える、ふるさと村のような、自然いっぱいの森」を目指そうという主旨の「保全管理計画書」が、市当局と地元市民の協力のもと策定されました。

その年、移植した約800本のクヌギ、コナラの苗木が、

今2mを越えるまでになり壮観です。

岡上の緑地は、かつてヤマユリの自生地でしたが、宅地開発等により、また地権者の高齢化が進むなどにより放置されて暗い森となり、ほぼ壊滅してしまいました。

ところが、下刈りや間伐の効果でしょうか、この2、3年在来種のヤマユリ、キンラン、ギンラン、タマノカンアオイなども見かけるようになりました。折りも折りとして19年に、「麻生ヤマユリ植栽普及会」からヤマユリ協働植栽地に指定され、植栽普及会の皆様のご支援で、年々ヤマユリ植栽ゾーンが拡張され、復活の兆しを見せています。大変喜ばしく思っています。

■市民の憩いの場に

以来6年、現在は多くの市民が訪れ、自由に散策を楽しんでいます。このような活動は地元の理解と信頼を得ること、また継続的に定期的に行うこと、そして、その仕組みをつくることの大切さを痛感しています。

今後とも地域の皆さんと協働して、野鳥や昆虫、小動物と棲み分けした、明るい雑木林になればと祈っています。(鎌谷)

7・8月植栽地便り!

かつての群落をかいま見る“ふるさと自慢”!

今年22年度も7月初旬から8月初旬までの開花時に合わせて、東は高石・百合丘地区から西は、岡上・黒川地区まで、北は細山地区から南の王禅寺・早野地区までの緑地や道路ののり面を当会会員で地域分担して散策調査しました。区内くまなくとまではいきませんが、事前に情報をいただいた場所も散策した結果、新たに白山神社境内、高石神社境内、黒川の緑地、早野緑地、柿生緑地などで開花を確認できました。

昨年までは、ほとんどの自生のヤマユリは、緑地にわずかに散在する姿しか確認できなかったのですが、美しいヤマユリの群落も見つかりました。また当会で植栽した地域では、かつての群落を思い起こされる緑地へと再生しつつあります。

一方、草刈り等の植栽地管理がすすみ、昨年までは、ヤマユリ再生を諦めつつあった植栽地で今年、見事に開花した姿を観たときの驚きは、喜びと併せて植栽の難しさを痛感いたしました。

植栽地では、まだ木子や種から開花する自生地とまでは至っていませんが、2,3年後には、花畑のようなヤマユリの群生する情景にお目にかかれるようになるでしょう。



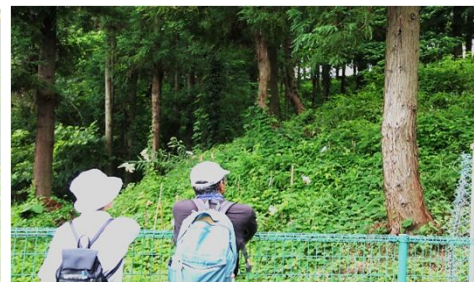
▲授産学園緑地



▲ヤマユリ・マークのある地域にヤマユリの開花が確認された場所です。



▲岡上梨子ノ木緑地



▲王禅寺すぎのき緑地



▲下麻生まつの木緑地



▲万福寺おやしる公園

会員募集中

地域のボランティアのみなさんと一緒にヤマユリに親しみながら緑地で汗を流しませんか。

年会費：1,200 円

定例会議：原則、毎月第二木曜日午後

会 場：交流館やまゆり

植栽活動：指定の各緑地（月に1回～2回）

★問合せ・連絡先：当会会長（事務局）貞本 勉

TEL：090-7175-4995

E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定

10月～12月の主な予定

10月～ 植栽地の整地作業

11月22日 ヤマユリ鉢植え・植え替え講習会

11月～12月 ヤマユリ植栽活動（6カ所）

植栽地の整地、球根の植え付け作業